

# ESA に関する FAQ：実際の機能停止やサービスに影響を与えるイベントをシミュレートせずに SNMP トラップの機能をテストするには、どうすればよいですか。

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[実際の障害やサービスに影響を与えるイベントをシミュレートせずに SNMP トラップ機能をテストする方法](#)

## 概要

このドキュメントでは、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) トラップ機能をテストする方法について説明します。

## 前提条件

このドキュメントの情報は任意の AsyncOS プラットフォームに基づいています。

## 実際の機能停止やサービスに影響を与えるイベントをシミュレートせずに SNMP トラップの機能をテストするには、どうすればよいですか。

隠しコマンド `snmptrap` を使用します。これにより、設定済み SNMP トラップ サーバへの SNMP トラップ メッセージが開始します ( `snmpconfig` を参照 )。

いくつかのトラップ イベントやオブジェクト タイプから選択したり、個々の値を指定したりできます。

```
> snmptrap
```

1. CPUUtilizationExceeded
2. FIPSMODEDISABLEFAILURE
3. FIPSMODEENABLEFAILURE
4. RAIDSTATUSCHANGE
5. CONNECTIVITYFAILURE
6. FANFAILURE
7. HIGHTEMPERATURE
8. KEYEXPIRATION

9. linkUpDown
10. memoryUtilizationExceeded
11. powerSupplyStatusChange
12. resourceConservationMode
13. updateFailure

Enter the number of the trap you would like to send.

[ ]>